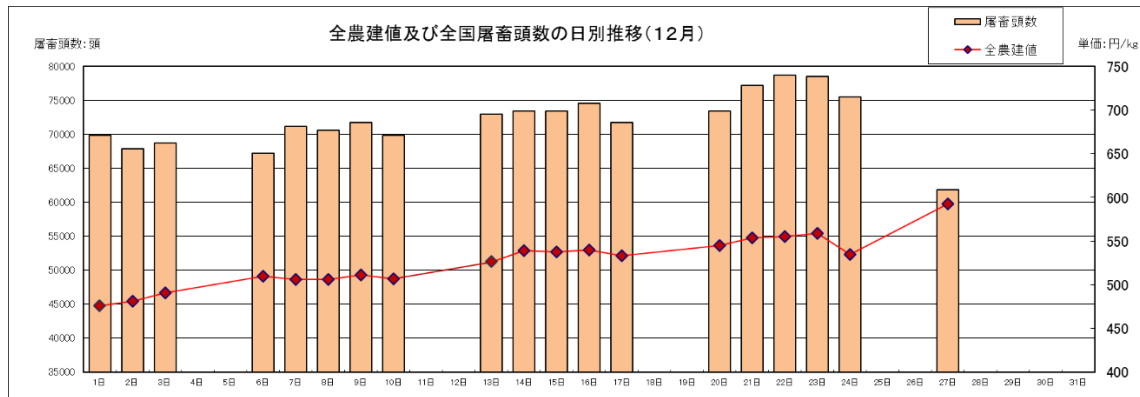


肉豚インフォメーション（12月）

【全農建値】

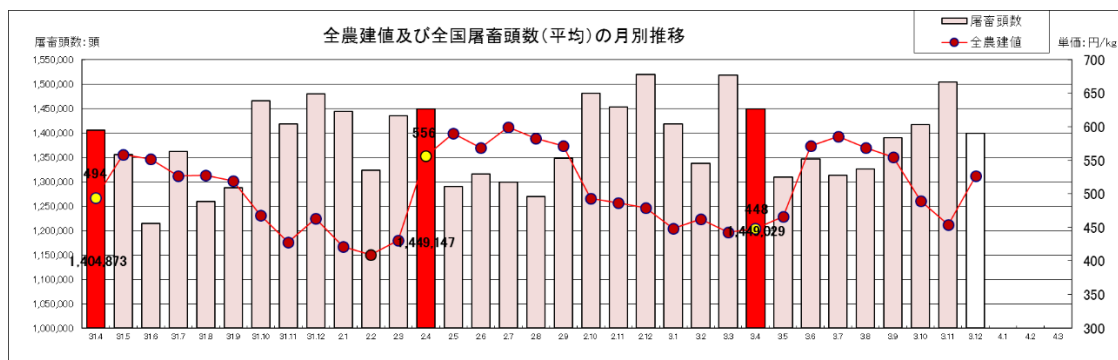
2021 年 12 月（税抜）	2020 年 12 月（税抜）
527 円/kg（47 円高）	480 円/kg

12 月は、中旬以降出荷頭数が 7 万頭を超える日が続いたが、気温の冷え込みとともに鍋物需要が高まり、相場は堅調に推移し月末に一段と上げる展開となった。



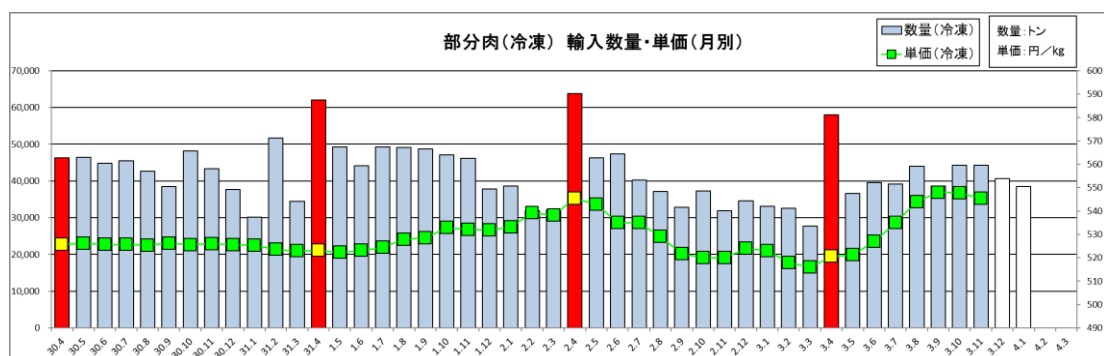
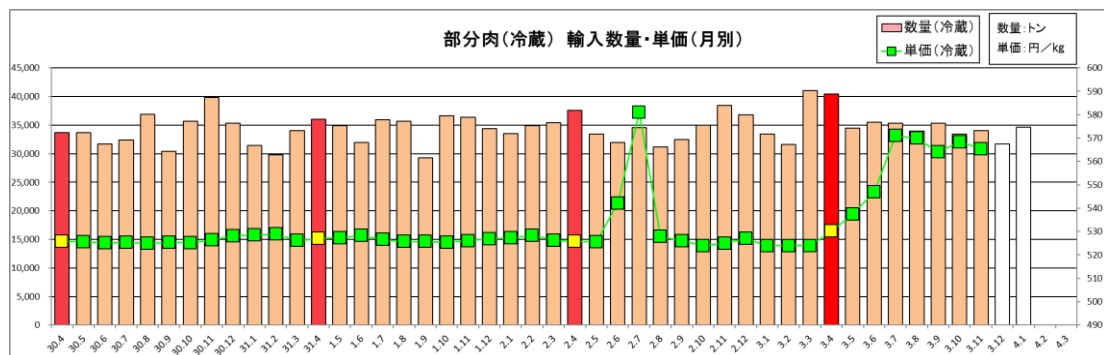
1 月以降の動向

1 月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、12 月は北米における現地価格の高騰やカナダの洪水の影響等から、前年同月をかなり大きく下回る一方、1 月はカナダの洪水の影響による入船遅れから前月分が繰越されたこと等により、前年同月をやや上回ると予測する。なお、3 カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、外食需要の回復が見込まれることに加え、中国の買い付けが弱まったことで相場が下がった欧州産の輸入量が増えていること等から、12 月、1 月ともに前年同月を大幅に上回ると予測する。なお、3 カ月平均でも、前年同期を大幅に上回ると予測する。（A L I C 豚肉の需給予測について 12 月 23 日）



オミクロン株の感染が全国的に拡がる中で、沖縄・広島・山口の3県に蔓延防止等重点措置が適用された。今後も感染拡大が想定され、再び飲食業界や観光業界への影響が懸念される。

一方で家庭内消費の需要は見込めそうだが、年明けの荷動きは鈍い(流通業者)。

また12月末に宮城県の養豚農場で豚熱感染が確認されたことを受け、茨城県内の農場に移動した豚など計252頭の殺処分が行われた。

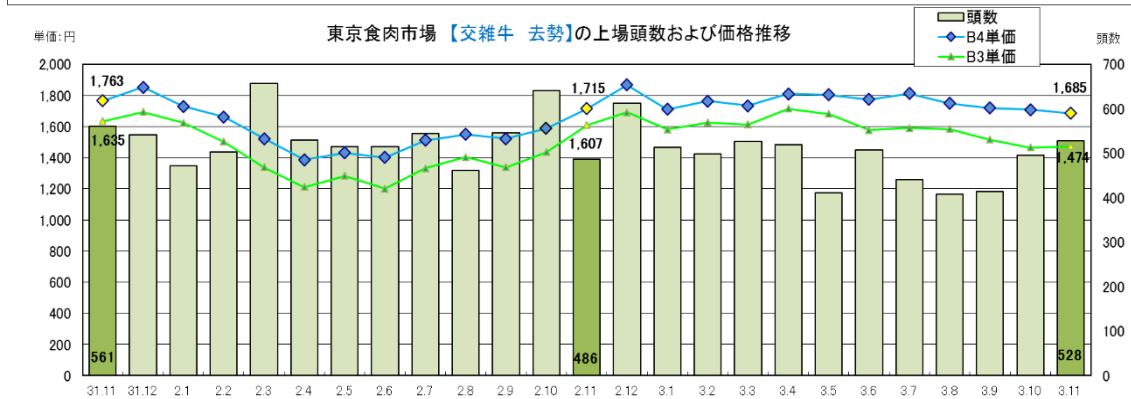
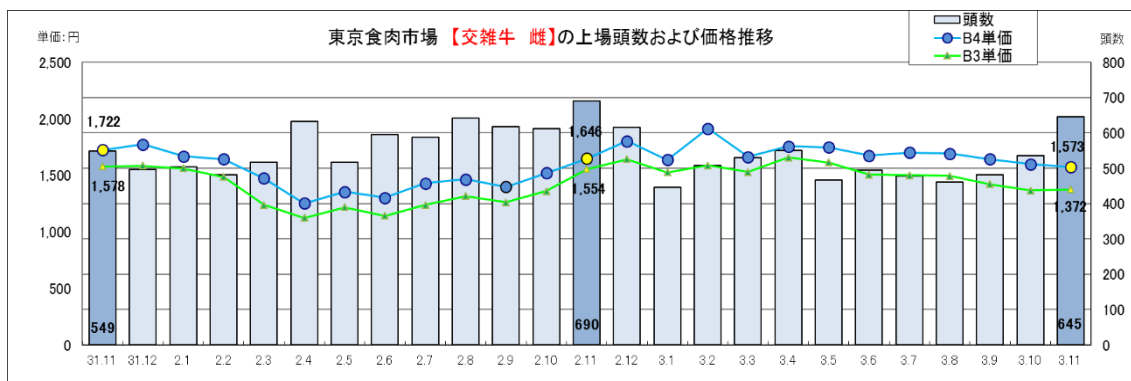
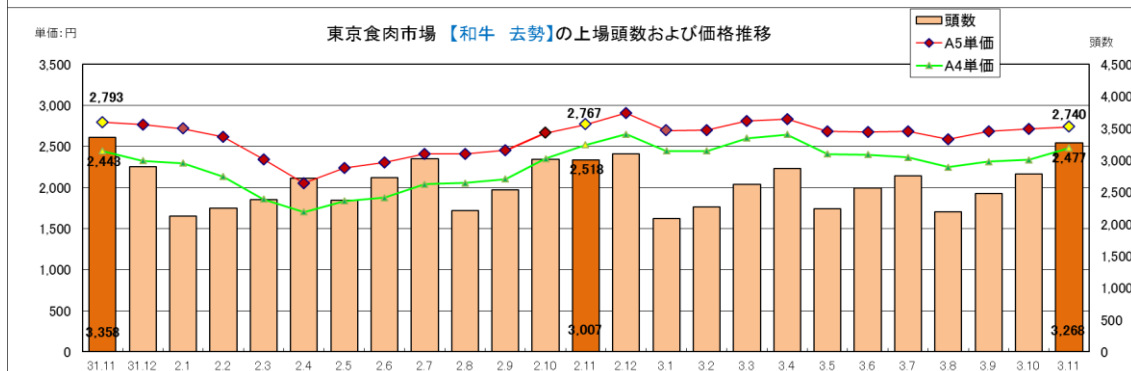
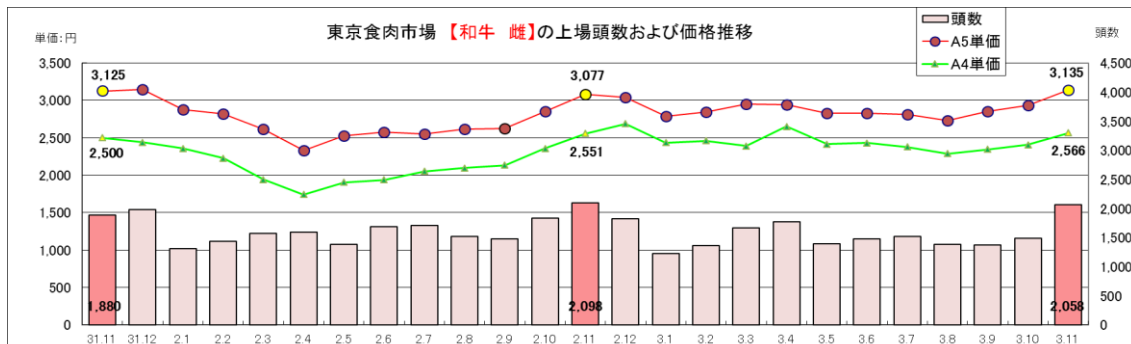
1月の相場は下げる見通し。

全農建値(税抜)予測レンジは430円～500円とする。

肉牛インフォメーション（12月）

● 12月の動向

和牛は、上物を中心に月末に向けた年末需要の手当てが始まったことから徐々に値を上げた。一方の交雑牛は弱含みで推移した。



● 1月の動向予測

1月は年明けで需要が落ち込むとはいえ、昨年の高値を引きずって一定の高値を維持すると見込む。

1月相場は「弱含み」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,700 円（税込み） A4等級 2,450 円（税込み）

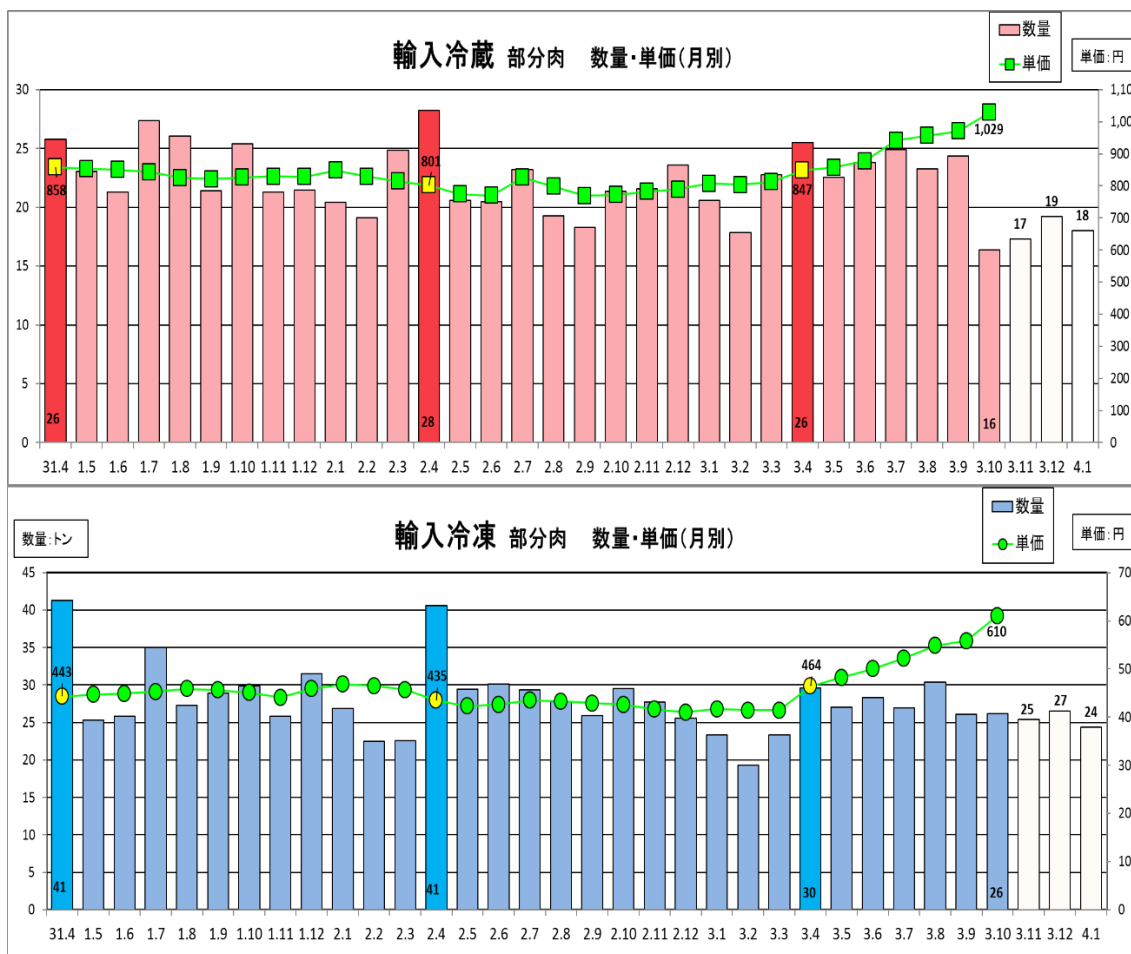
交雑去勢 B4等級 1,600 円（税込み） B3等級 1,400 円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、豪州及び米国における現地価格の高止まり等により、12月は大幅に、1月はかなり大きく、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期を大幅に下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、12月は、豪州産及び米国産の輸入量が現地価格の高止まり等により減少するものの、他国産の輸入量が増加することから、前年同月をやや上回ると予測する。1月も、豪州産の輸入量が現地価格の高止まり等により減少するものの、他国産の輸入量が増加することから、前年同月をやや上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

（A L I C牛肉の需給予測について 11月25日）



●消費動向

2022 年は GoTo 事業に期待したい。ただ、コロナで新たにオミクロン株が流行するなど、改めて感染拡大防止への働きを強める動きがみられるようになっている。需要回復にはしばらくかかると見込む。

●全農茨城県本部家畜市場動向

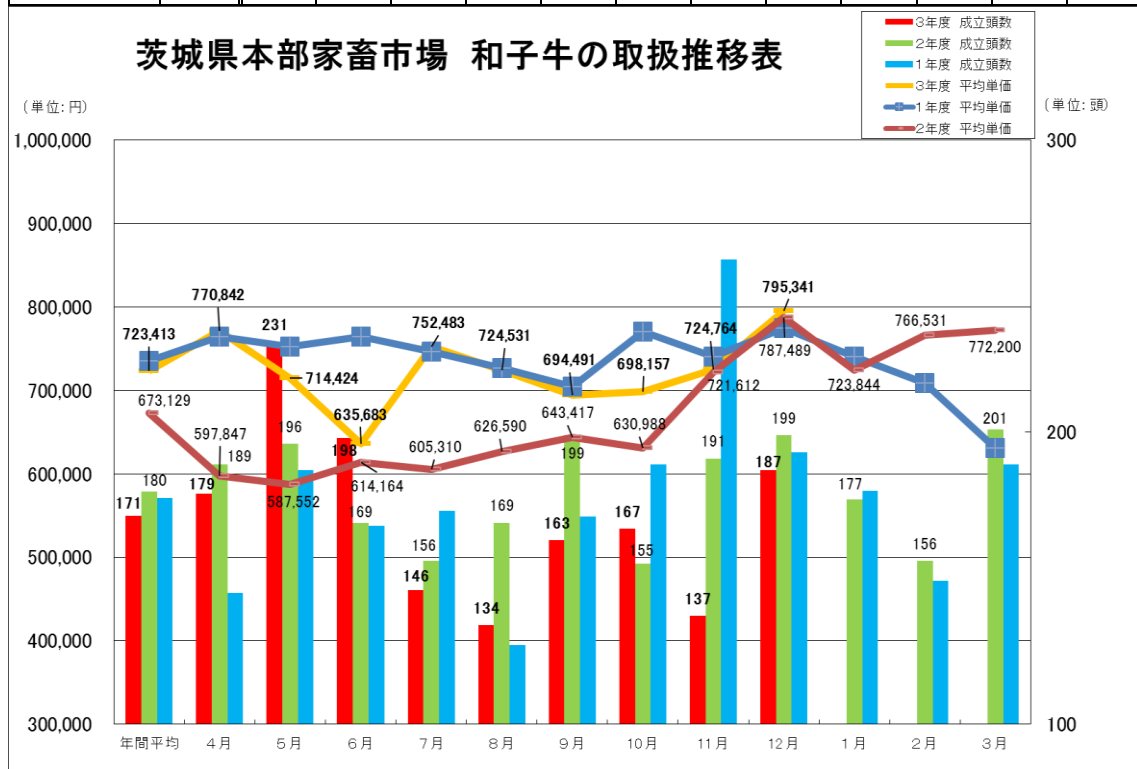
素牛平均価格（12 月税込）は、黒毛和種の雌は 728,228 円で前月比+64,630 円、去勢は 844,433 円で前月比+73,404 円となった。上場頭数（成立）は 187 頭で前月比+50 頭。

次回上場頭数は 170 頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

（税込）

	年間平均	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年度 平均単価	735,223	764,223	752,015	764,621	746,382	726,806	704,141	769,994	740,279	774,343	740,581	708,666	630,626
去勢	791,182	804,333	799,867	842,908	797,996	801,132	732,566	818,370	797,145	846,297	814,402	757,106	682,060
雌	659,697	707,400	675,585	684,447	680,659	631,348	657,786	702,635	661,359	682,919	639,563	633,657	559,009
2 年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3 年度 平均単価	723,413	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341			
去勢	780,388	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433			
雌	642,112	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228			
1 年度 成立頭数	178	145	187	168	173	127	171	189	259	193	180	149	189
2 年度 成立頭数	180	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3 年度 成立頭数	171	179	231	198	146	134	163	167	137	187			



食肉インフォメーション（12月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査 11 月度結果報告によると、引き続き好調なファーストフードに引っ張られる形で全体売上は対前年比 99.8%、コロナ前の 2019 年比では 91.8%まで回復した。パブ・居酒屋業態でも前年比 96.8%と回復の兆しが見えるものの、コロナ前の 2019 年比では 51.9%となった。全国的に営業時間短縮要請および酒類提供の制限がなくなり、飲酒業態を中心に集客効果が高まったが、ウィズコロナの新しい生活様式の表れか、夜間の客足は鈍い状況となった。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3 団体の 11 月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は 1,131 億円(前年同月比 98.8%、既存店ベース 96.8%)と前年を下回った。緊急事態宣言解除後の内食需要の落ち着きに加え、国産・輸入共に価格が引き続き高騰しており、販促も打ちにくく伸び悩みをみせた。豚肉・鶏肉は鍋需要の高まりに合わせて回復が見られたが、牛肉は国産、輸入ともに不調が続いた。

年末年始にかけて、量販店では例年通り和牛中心で売り場展開する方向だが、相次ぐ物価上昇で消費者の購買意欲は低調気味である。外食需要は地方の旅行や帰省客に期待しているが、ここにきて新たな変異株の報道もあり、先行きの不安感が増してきている。

○牛肉

11 月は小春日和が続いたことによる鍋物需要の伸び悩み、輸入品も含めた相場高、内食需要の落ち着き等から小売が厳しい状況となった。一方で活動自粛の反動から外食・観光需要が回復し、ホルスを中心にヒレ、ロースの動きが増えた。和牛でもロースの動きが改善傾向にあるものの、需要のメインはホルスの切落しや煮込み用のスネで、和牛・交雑の切落し向けのモモ等は引き続き鈍い状況となり、畜種や銘柄による温度差が懸念される。

○豚肉

11 月は月初から落ち着いた荷動きだったが、気温低下に伴い鍋需要が高まり、月末でスライス系の引き合いが強くなった。国産では冷蔵品でバラ・肩ロースが好調だったがロース・モモ・挽材は苦戦が続き、冷凍品はバラを中心に終始堅調な荷動きとなった。一方で輸入は冷蔵品でカナダ産を中心に品薄が続き、バラを中心に引き合いが強く、冷凍品は外食需要の回復に合わせて荷動きが復調傾向にある。

○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和 3 年 11 月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和 2 年 11 月	11,738	16,453	13,691	53,849	14,837	12,607	6,922	130,107
令和 3 年 11 月	12,228	15,984	13,421	34,384	17,323	10,980	7,215	111,535
増減	490	-479	-270	-19,465	2,486	-1,627	293	-18,572
対比	104%	97%	98%	64%	117%	87%	104%	86%